

# 広報 いずも

第44号 平成19年(2007)1月11日発行

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新出雲市は、2015年度までの10年を展望する基本指針「21世紀出雲のグランドデザイン」に基づき、まちづくりの基本となる条例の制定や、産業から都市基盤、福祉、環境、教育、文化などの諸施策の基本設計を整え、合併初年度から、特に県の関連事業促進を期待しつつ諸事業を計画的に推進しております。

合併3年目を迎える本年は、新市発展の最重要施策として、次の課題に創意工夫と知恵をしばり集中的に取り組んでまいります。

## (1) 産業振興

山陰自動車道出雲インターチェンジ周辺での新ビジネスパークをはじめ、日本最大規模の風力発電事業や水素エネルギーを活用した新エネルギー産業の創造、出雲・平田両都市拠点における中心市街地の活性化、さらには農業ビジネスの振興、漁業の活力増進に努力してまいります。

## (2) 人材育成と教育改革

地域学校運営理事会による、学校教育への積極的な支援・協力、芸術・スポーツアカデミー、アグリビジネススクール、出雲文化観光学院などによる人材づくりを進めます。また、食育による心身ともに健全な市民の育成、女性パワーの創出など活力ある男女共同参画のまちづくり、高齢者の社会参加などを強力に推進してまいります。

## (3) 基盤整備

昨年7月の未曾有の大水害を念頭に、河川改修や住民ネットワークなど安全・安心のまちづくり、また、道路・下水道の整備、保育所・幼稚園・小中学校・コミュニティセンターなどの整備充実を図ります。

全国的な行財政改革の嵐と道州制の議論も高まらんとする中で、21世紀変革の時代を展望しつつ、「神話の夢舞台 出雲」の創造に向け、その10年計画の達成に全力を尽くすべく、本年も力強く前進、前進また前進してまいります。

市民の皆さまのご健勝・ご多幸を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。



出雲市長 西尾理弘

# 10年計画の 達成に全力



広島市で開催した「島根ふるさとフェア」で観光PR